

## ランニング学会常任理事会議事録

日時 平成 18 年 1 月 31 日（火） 18:10～20:10

場所 岸記念体育館内会議室 405 号室

参加者 11 名

資料 1)

1. 住所不明者一覧（20 名）
2. 会員情報調査票はがき
3. 肥満研究（海外論文紹介の参考資料）

資料 2) 第 18 回大会実行委員会より

1. 協賛企業一覧と進捗状況
2. 司会、講師謝金一覧表
3. 予算案一覧表

< 議事進行 >

雨宮会長挨拶

豊岡理事長 司会進行

### 議題

#### ● 事務的内容について

- ・ 住所不明者確認
- ・ 会員住所録作成 2006 年 3 月予定 2 月中に会員に向けて会員情報調査票はがき郵送の連絡
- ・ 海外文献紹介掲載 日本肥満学会誌参照 1200～1800 字程度  
月 2 編を HP へ掲載予定  
年間 12 編を毎年 3 月発行のランニング学研究に掲載  
謝金の金額については豊岡理事長に一任

第一回掲載分は、豊岡理事長と足立常務理事が各1編。  
以後、他の会員へ。飛び込み掲載も歓迎、賛同を得る。

- ・会員数 約 390 名 (年間会費振込済み)
- ・協賛企業 (賛助会員) 0 社  
現在 1 社あたりの賛助会員費 10 万円 (会則に記載)  
賛助会員費を下げてはどうか。総会で検討

学会だけのスポット協賛企業ではなく年間を通しての協賛企業の  
獲得を視野に働きかけをしないといけないのではないかと  
協賛企業のメリットとして HP へのバナー広告の掲載など  
学会実行委員会を受け持った時に協賛企業への勧誘が大変という  
事情報告あり

- ・ホームページについて 意見なし

## ●学会大会について (前河、鍋倉常務理事より報告)

### 1) プログラム

- ・シンポジストの変更、追加について
- ・プログラムについて  
シンポジウムⅡ ランニング学会・大塚製薬共同プロジェクト報告  
シンポジストは 11 名 (雨宮会長より報告)  
ランチョンセミナーに参加者への無料弁当を提供してもらってはどうか→  
会長から大塚製薬に交渉

### 2) 予算について

- ・学会参加費を当日徴収にしているの、学会引当金とは別に一時借入金をお願いできないか。→借り入れを許可された。

・講師謝金

学会大会についての運営は、実行委員会に一任。

但し従来通り、講師謝金については会員に対して謝金、交通費、懇親会招待などはなしに決まる。

●アミノバリューランニングクラブについて

<雨宮会長>

大塚製薬より来年度も引き続きアミノバリューランニングクラブ開催の正式依頼があったことが報告された。

ランニング学会として06年度実施するか否かについては理事会での検討後、返答を約束した。

<雨宮会長>

06年度の開催について、学会として開催してはどうか。

05年度の反省点などを修正し実施していく方向で。

企画委員会を立ち上げ、反省と課題を検討し、継続して出来ればと考える。

<石井常務理事>

アミノバリューランニングクラブの主体性はどこにあるのか。

大塚製薬はあくまでもランニング学会の協力ではなかったのか。

企画委員会5名を決定し話を進めていくのではなかったのか。

意志決定機関はどこにあるのか。

今後開催するにも学会員がいない県などはどうするのか。

大塚製薬社員の温度差の問題はどうするのか。

BCAA ガールズとは何か。学会への報告はあったのか。

<足立常務理事>

OG スポーツにもアミノバリューランニングクラブが存在していた点についてどう考えるのか。

ウェア、グッズに関してアミノバリューランニングクラブ限定商品ではなかったのか。

<雨宮会長>

学会として細かいところまで把握は出来ない。

<山西常務理事>

05年度は計画なしに行ったその結果である。本来なら本日の理事会で来年度のプランの提供があり、話し合わなければいけないのではないかな。

細かなことは大塚製菓に紙面で示す必要があるのではないかな。

来年度の開催については、まずはプランを作成し学会前の理事会で話し合い、総会にて問う必要がある。

<鍋倉常務理事>

05年度はどこで開催したのか、各拠点の活動として何を行ったのかななどを報告書として提出するべきではないかな。

参加人数、ツアー人数、何を行ったのか、クラブへの意見など。

05年に行ったことの情報を集め、06年に活かせる形を取るべきではないかな。

<有吉副会長>

アンケートについては集計中である（ツアー、クラブ設立など）。

<鈴木常務理事>

マンパワーの増員のためにも会員の掘り起こしが必要ではないかな。

**※理事会として**

06年度も開催を視野に進めていくことで合意。

アミノバリューランニングクラブの主体性を明確化しないといけない。

05年度の反省点など契約書の事項に盛り込む必要がある。

講師の派遣など横のつながりを持つことも考えていくことが必要である。

各拠点の代表者を集め話し合うこと必要がある（開催の有無など）。

学会大会で06年度のプランを示す必要がある。

●第 19 回学会大会開催地について

次回は群馬県での開催はどうか。

<山西常務理事>

これまで以下のように大会が開催され、学会事務局も移転し新体制で始動したところであり、地方開催は時期尚早ではないか。次回は関西で行い、次々回開催ぐらいが妥当と考える。

第 15 回大会：大阪

第 16 回大会：茨城

第 17 回大会：福岡

第 18 回大会：東京

次回は関西が妥当。

大阪は 15 回で開催しており、次回は京都で開催してはどうか。

京都開催で検討。

文責 足立哲司